

## 白浜レスキューネットワーク通信 8月号

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 3137-8

TEL&amp;FAX0739-43-8981

<http://srnw.or.jp>e-mail [yabiumi@gmail.com](mailto:yabiumi@gmail.com)

理事長 藤藪庸一

郵便振替 00920-6-85589 口座名：白浜レスキューネットワーク  
 紀陽銀行白浜支店普通預金 589389 口座名：NPO特定非営利活動法人  
 白浜レスキューネットワーク

### 自殺者救済活動

8月1日～8月31日

メール相談 4人

保護件数 4件4名(女性4名)

帰宅件数 3件3名(女性3名)

- 11日、女性を保護。
- 12日、女性を保護。警察も出動していたので警察にお任せすることになった。
- 29日、二人の女性を保護。一人は、31日に家に帰った。

### 生活自立支援活動

8月1日～8月31日

滞在者数 15人(男性11人、女性4人)

自主退所 1人(男性1人)

- 昨年10月に保護した80代女性は、ボランティアの女性と共に、お昼ご飯の準備の奉仕をしている。
- 高校在籍の20代男性は、「メンタルがやられた」と、お盆明けに親の元に帰った。9月の二学期スタートに合わせて帰ってくるように励ましている。
- コンビニとまちなかキッチンで働く20代女性は、夏の暑い時期も寝込まず乗り切ることができた。
- 80歳の男性は、デイサービスとヘルパーの支援を受け頑張っている。
- まちなかキッチンで訓練を受けている30代男性は、任されていることをすることができなかった時、早く相談できるようになってきた。
- まちなかキッチンで訓練を受けている40代男性は、自分が頑張らなければと空回りした。周りのできなさに怒り、攻撃し、いじめるという最悪な言動に、周りがついていけなくなった。

ここに来るまでも、同じようなことを繰り返し、仕事を続けられなかった経験がある。一からやり直した。

- 惣菜部門で訓練を受けている女性は、引きこもらずに頑張っている。
- リハビリ期間が終わった男性は、それでも体の調子が良くならない。毎日、ストレッチ、歩行訓練を繰り返している。
- ホテルに勤める40代の男性は、共同生活の中で、皆と程よい距離感を保ちながら、叱り職場での責任を果たすべく頑張っている。
- 昨年10月に近所のアパートに引っ越してきた女性は、何か役に立ちたいという気持ちはあるが、言葉や態度で信頼を得られないことが続いている。
- 明誠高校和歌山白浜SHIPの生徒となった高校生は、8月に予定されていたスクーリングが、コロナの影響ですべてキャンセルになった。スクーリングが開かれるまでしっかり備えようと励ましている。
- 7月から共同生活に加わった50代男性は、農業に携わりながら、だんだん落ち着いて来た。
- 60代の男性は、糖尿病のために病院にかかりながら3月を目指している。3月には65歳になるので、年金が入ってくる予定。
- 40代女性は、外のアルバイトとまちなかキッチンで生計を立てている。
- 29日に保護した女性は、落ち着いたら家に帰る予定。

### 自殺予防活動

・相談電話

6日、13日、20日、27日と行なった。今月も1人の相談員が休まず電話相談にあたった。